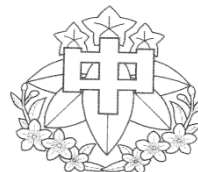


学校名	伊達市立桃陵中学校	校長	清野 茂徳		
住所	福島県伊達市保原町字豊田1番地1	児童生徒数	484	学級数	19
TEL	024-576-6353	ホームページアドレス	http://www.schoolweb.ne.jp/date/toryo-j		

「独歩の力・信愛の心・協働の手」

本校では、困難を自ら解決し、お互いを認め合い、助け合い、補い合って活動することができる「豊かな人間性と社会性、確かな学力を持つ生徒」の育成を目指し、日々教育活動を進めている。



1 少人数指導の計画等

本校では、「学級・学習集団づくり」を基盤にしながら、生徒が自らやってみたくと思うような学習課題を提示し、主体的に課題を追求・探究できるような学習過程の工夫に取り組んでいる。さらに、得られた結果や自分の考えを表現・発表し合いながら考えを深め合うことを通して、生徒一人一人に「確かな学力」を定着・向上させることを目標に、日々の授業の実践に努めている。

本年度は3ヵ年計画の2年目にあたり、生徒が課題を主体的に追求・探究できるような流れの構築や探究活動の質的向上を目指した「学習過程の工夫」を副主題に設定し、少人数の教育の重要性とその充実のため、「指導方法の工夫」の視点から以下のア～ウの3点において、授業の工夫・改善に取り組んでいる。

- ア：個に応じた指導方法の工夫・改善
- イ：習熟度別学習等の学習形態の工夫
- ウ：きめ細かな支援の工夫

2 実践の概要

ア：個に応じた指導方法の工夫・改善「数学：平方根（根号をふくむ式の計算）」

習熟の時間に、生徒の理解度を評価し、個人差に応じた支援や生徒相互の学び合いが効率よくできるようにするために、学習プリントの中に「基本」「標準」「発展」がはっきり分かるように問題を配列し、生徒自身にどの段階にいるのか自覚させながら学習を進めさせた。また、生徒が自然発生的に発言する場面や、まわりの友達と相談する場面が生まれるような課題提示と課題設定の仕方を工夫し学習集団としての学級が機能するようにした。



ウ：きめ細かな支援の工夫「保健体育：体育理論（運動やスポーツの多様性）」

運動やスポーツへのかかわり方（行くこと・見ること・支えること）を現在まで学んだ短距離走（50m）を例に振り返り、多様なかかわり方について深く理解させた。また、運動やスポーツのかかわり方から、保健体育科の授業を3年間充実させるために、生徒一人一人が大切にしなければならないことを考えさせ、グループ内で相互評価し、全体で生徒一人一人に発表させた。



3 実践の成果と課題

○ 各教科において、教科の特性に応じた少人数教育の支援を工夫したことが、課題に取り組む生徒一人一人の学習意欲の向上につながった。また、生徒間での活発な意見交換や主体的な学習活動により、知識、技能の確実な習得や活用力の向上など、充実した学習活動を展開することができた。

● 実践してきた研究の経緯・実績を十分に生かしながら、さらに生徒一人一人の力を伸ばしていくことができるよう、研究と改善を加えながら、本校教職員一丸となって取り組んでいきたい。